

災害ハザードマップに関するアンケート 結果報告書

令和 2 年 7 月

春日部市防災対策課

1. 調査概要

(1) 目的

近年の度重なる災害を受けて、国や埼玉県は、これまでの想定（100～200年に1度の大雨）を見直し、想定される最大規模の降雨（1,000年に1度の大規模災害）による洪水浸水想定区域を新たに公表しており、春日部市では、想定最大規模降雨に基づく新たな災害ハザードマップ（以下、ハザードマップという）を作成する予定です。

そこで、想定される災害のリスクや避難場所を市民の皆さまに周知するとともに、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動に活用できるハザードマップを作成し、市民の皆さまにとって、わかりやすく、使いやすいハザードマップにするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 対象者

・春日部市自主防災組織連絡協議会会長	1名
・自主防災組織代表者	195名
・防災士（自主防災組織代表者を除く）	217名
・市議会議員	31名
・消防団団長及び副団長（春日部・庄和地域）	4名
・消防団分団長	14名
・消防団女性部代表	13名
合計	475名
うち回答数	<u>393名</u>
回答率	<u>82.7%</u>

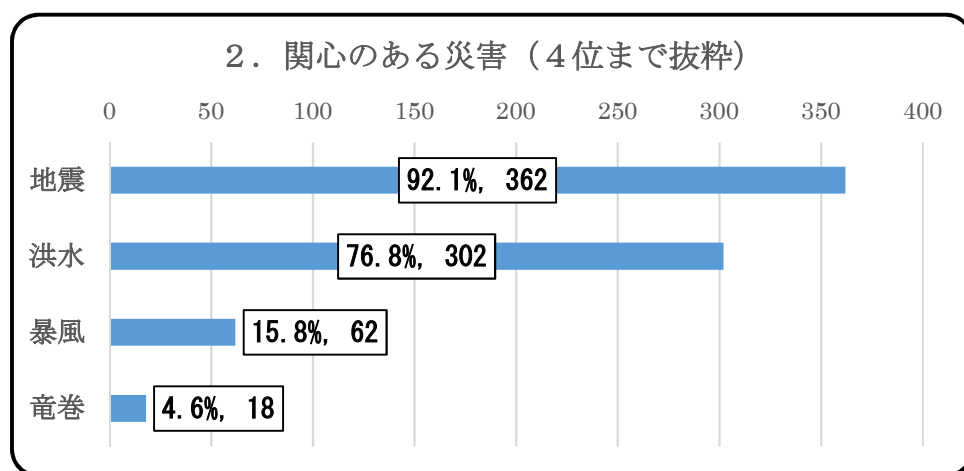
2. 調査結果

(1) 結果概要と考察

①関心のある災害について

最も関心が高かったのは地震で、次いで洪水、暴風の順となっています。

これは、東日本大震災や熊本地震などの大地震の発生、また、平成29年九州北部豪雨や令和元年東日本台風などによる河川氾濫といった、激甚災害が近年相次いで発生していることが要因と思われます。また、令和元年房総半島台風では、暴風により千葉県全域に家屋被害や大規模停電が発生したことから、暴風への関心も高まっていると考えられます。



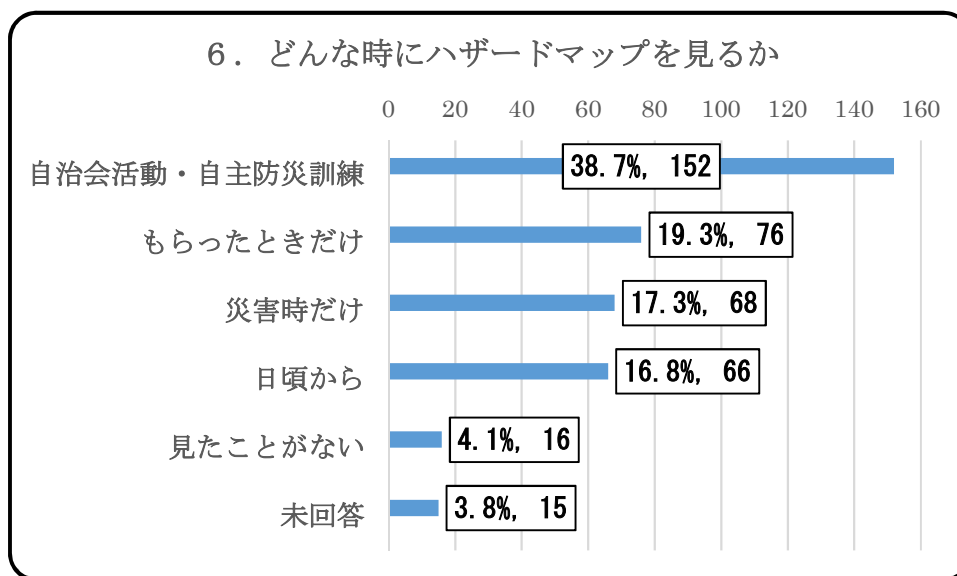
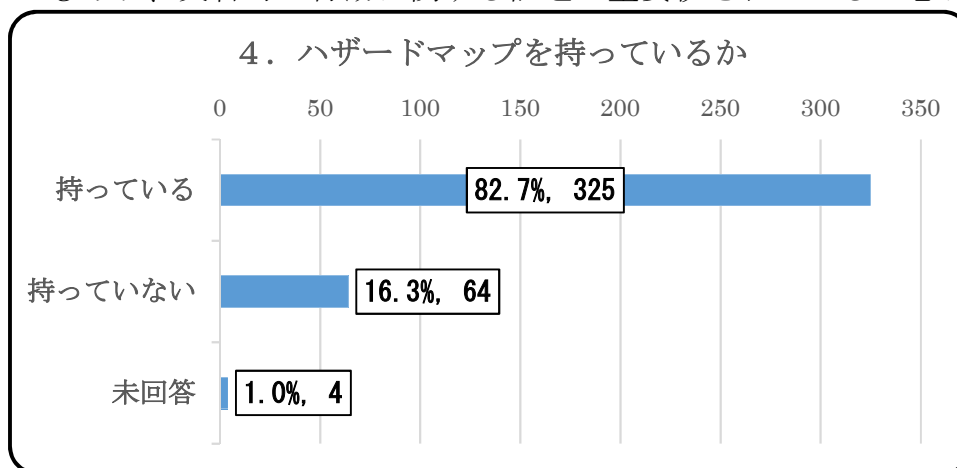
【 考察 】

- ・地震、洪水（内水含む）、暴風に重点を置き、内容を検討する。

②現行のハザードマップについて

ほとんどの方がハザードマップを認知しており、所有率は約83%でした。しかし、「自主防災訓練」時や「もらったとき」のみ見ている方が過半数を占め、保管場所も「本棚」が約半数であることから、一時的な利用が多く、その学習効果は時間の経過とともに薄れていると考えられます。

また、各項目の関心度では、避難場所一覧のほか、地震・水害時に取るべき行動について関心が高くなっています。令和元年東日本台風で初の避難勧告を発令したこともあり、災害時の行動に関する記述が重要視されていると思われます。



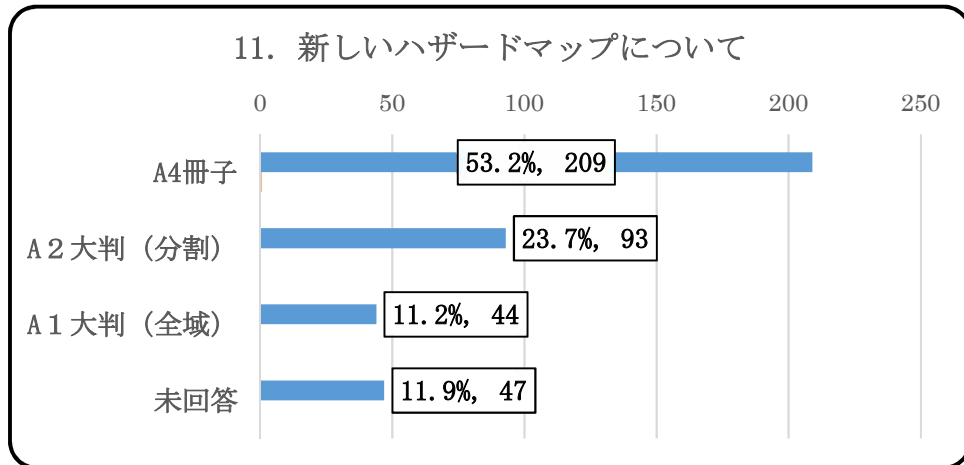
【 考察 】

- ・ハザードマップを手にする機会を増やすために、事前の備えやマイ・タイムラインなど、日頃から定期的に確認すべき内容を増やせないか検討する。
- ・マイ・タイムライン等を活用し、災害時に取るべき行動について、住民が理解しやすくなるような内容を検討する。

③新たなハザードマップについて

新たなハザードマップの形態として、従来のA4冊子タイプが約53%、A2大判タイプが約24%、A1大判タイプが約11%となっています。

「災害情報が1冊にまとまっている」、「日頃からの備えが掲載されていて便利」といった点が多く評価されている一方、「字が小さい」、「どれが重要な情報かわからない」、「地図が見づらい」といった課題がありました。



【 考察 】

- ・スペースの都合上、字を大きくするため、掲載情報の絞り込みを検討する。
- ・背景地図の種類や色合い、掲載情報などについて、より見やすくなるような検討をする。

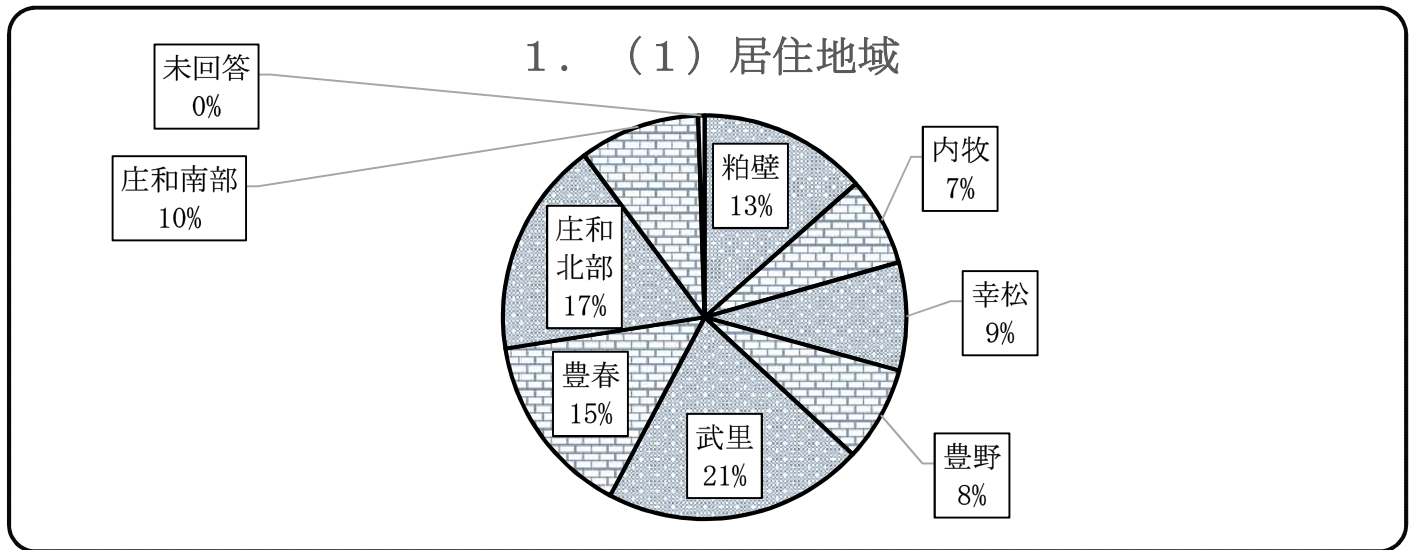
(2) アンケート集計結果

次ページ以降をご参照ください。

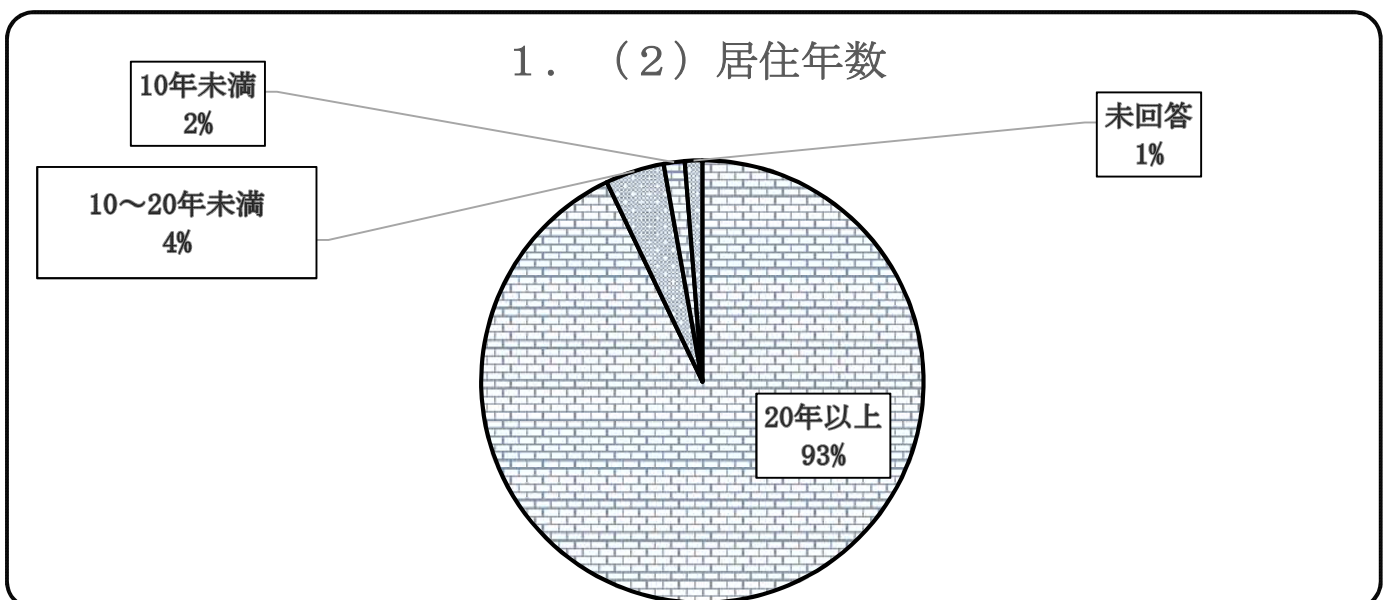
アンケート集計結果

送付数：475通
回答数：393通（82.7%）

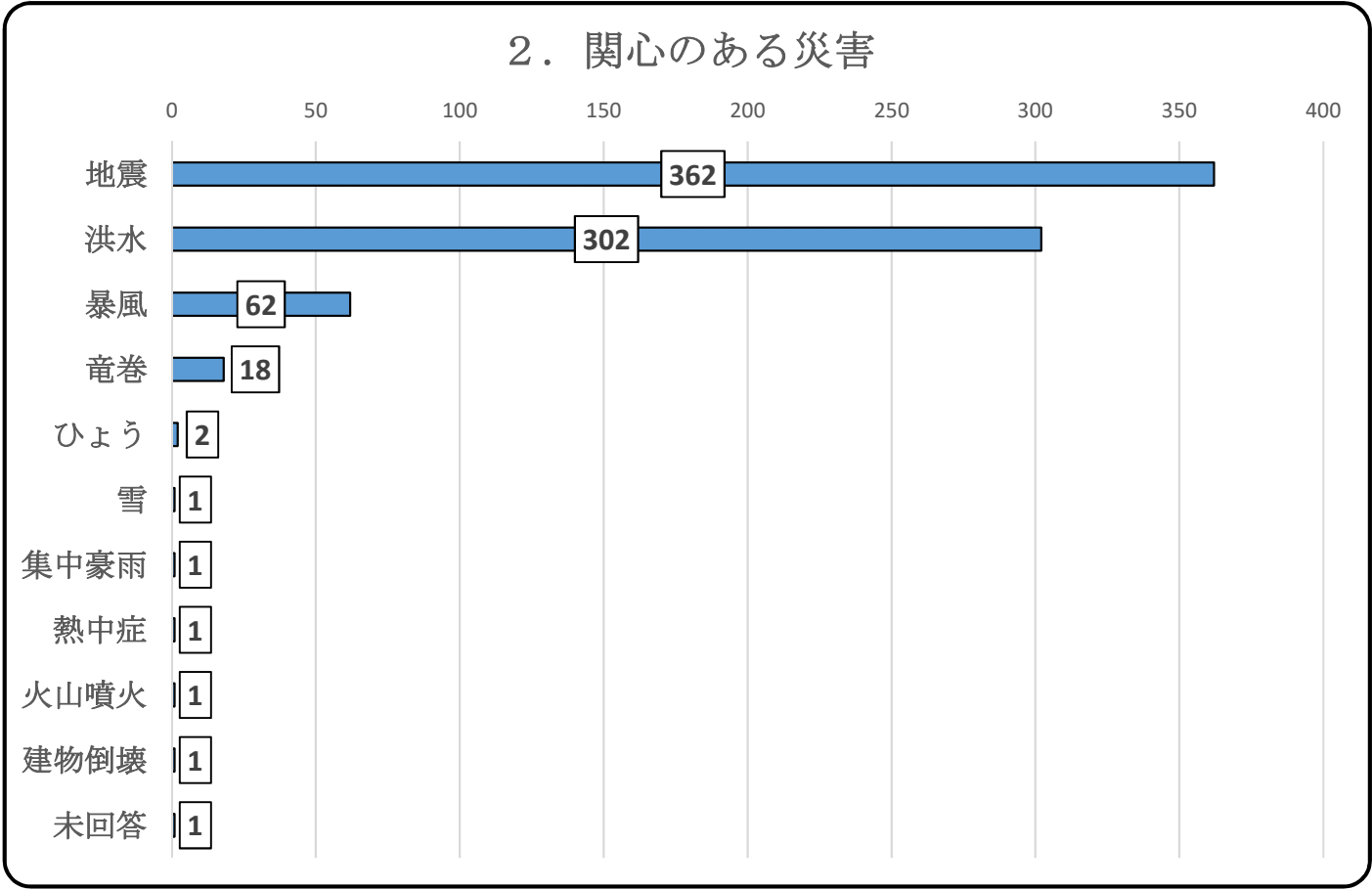
質問 1 - (1) 居住地域			
粕壁	53	武里	82
内牧	28	豊春	58
幸松	34	庄和北部	68
豊野	30	庄和南部	38
未回答	2		



質問 1 - (2) 居住年数	
20年以上	365
10～20年未満	17
10年未満	6
未回答	5

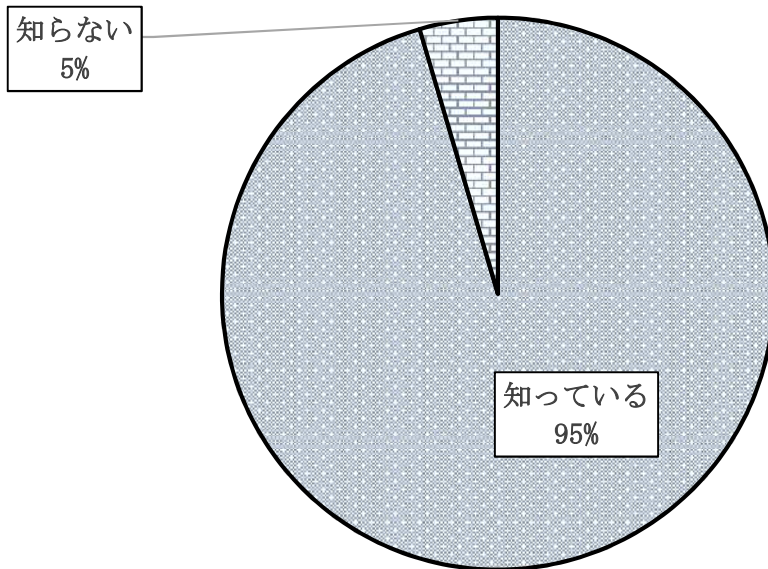


質問 2 関心のある災害		
地震	362	92.1%
洪水	302	76.8%
暴風	62	15.8%
竜巻	18	4.6%
ひょう	2	0.5%
雪	1	0.3%
その他	集中豪雨 火山噴火	熱中症 建物倒壊
未回答	1	



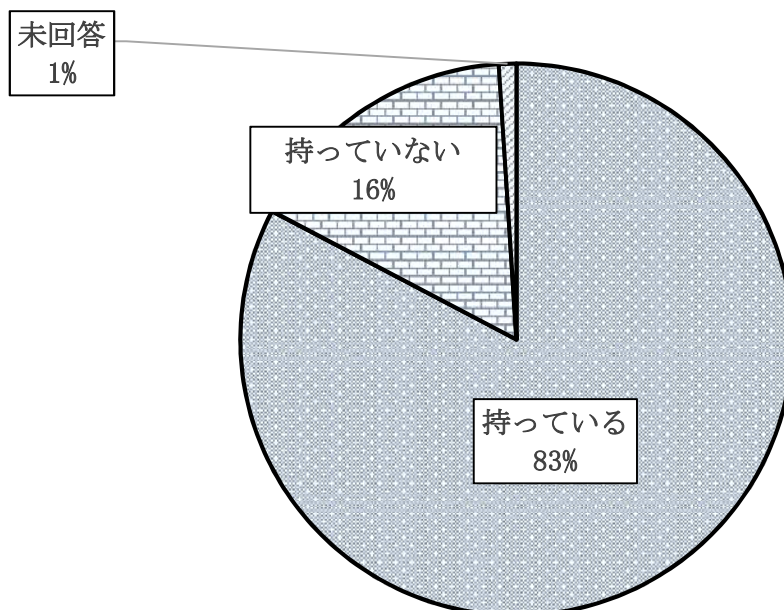
質問3 ハザードマップを知っているか	
知っている	375
知らない	18

3. ハザードマップを知っているか



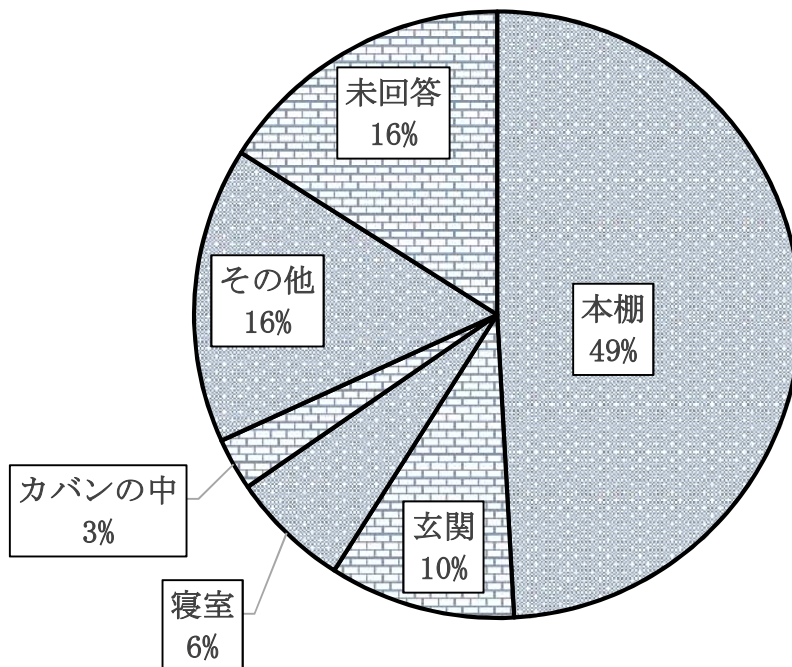
質問4 ハザードマップを持っているか	
持っている	325
持っていない	64
未回答	4

4. ハザードマップを持っているか



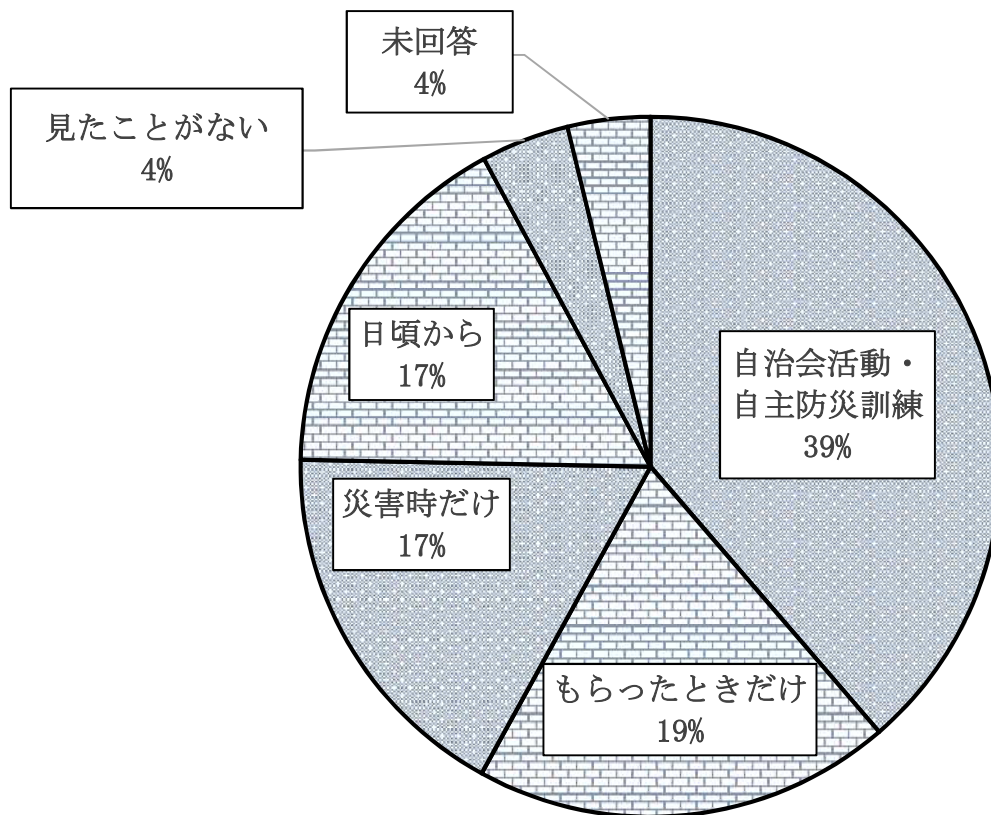
質問5 普段どこに置いているか	
本棚	193
玄関	39
寝室	25
カバンの中	11
その他	62
未回答	63

5. 普段どこに置いているか



質問6 どんな時にハザードマップを見るか	
自治会活動・自主防災訓練	152
もらったときだけ	76
災害時だけ	68
日頃から	66
見たことがない	16
未回答	19

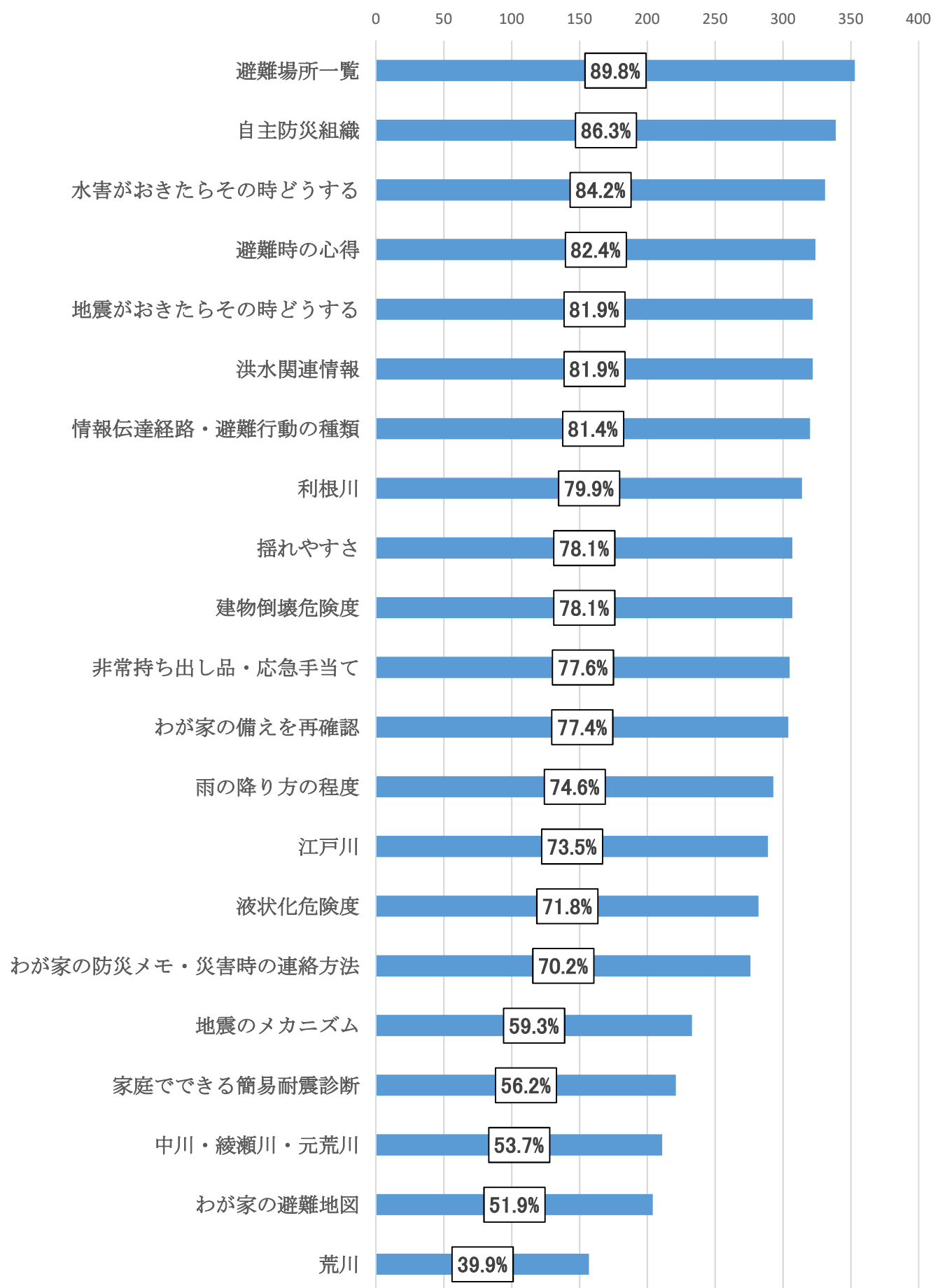
6. どんな時にハザードマップを見るか



質問 7 各項目への関心度

避難場所一覧	あり	353	わが家の備えを 再確認	あり	304
	なし	21		なし	43
	未回答	19		未回答	46
自主防災組織	あり	339	雨の降り方の程度	あり	293
	なし	22		なし	46
	未回答	32		未回答	54
水害がおきたら その時どうする	あり	331	江戸川	あり	289
	なし	26		なし	65
	未回答	36		未回答	39
避難時の心得	あり	324	液状化危険度	あり	282
	なし	25		なし	67
	未回答	44		未回答	44
地震がおきたら その時どうする	あり	322	わが家の防災メモ 災害時の連絡方法	あり	276
	なし	31		なし	64
	未回答	40		未回答	53
洪水関連情報	あり	322	地震のメカニズム	あり	233
	なし	29		なし	96
	未回答	42		未回答	64
情報伝達経路 避難行動の種類	あり	320	家庭でできる 簡易耐震診断	あり	221
	なし	30		なし	109
	未回答	43		未回答	63
利根川	あり	314	中川 綾瀬川 元荒川	あり	211
	なし	45		なし	121
	未回答	34		未回答	61
揺れやすさ	あり	307	わが家の避難地図	あり	204
	なし	42		なし	128
	未回答	44		未回答	61
建物倒壊危険度	あり	307	荒川	あり	157
	なし	47		なし	167
	未回答	39		未回答	69
非常持ち出し品 応急手当て	あり	305			
	なし	38			
	未回答	50			

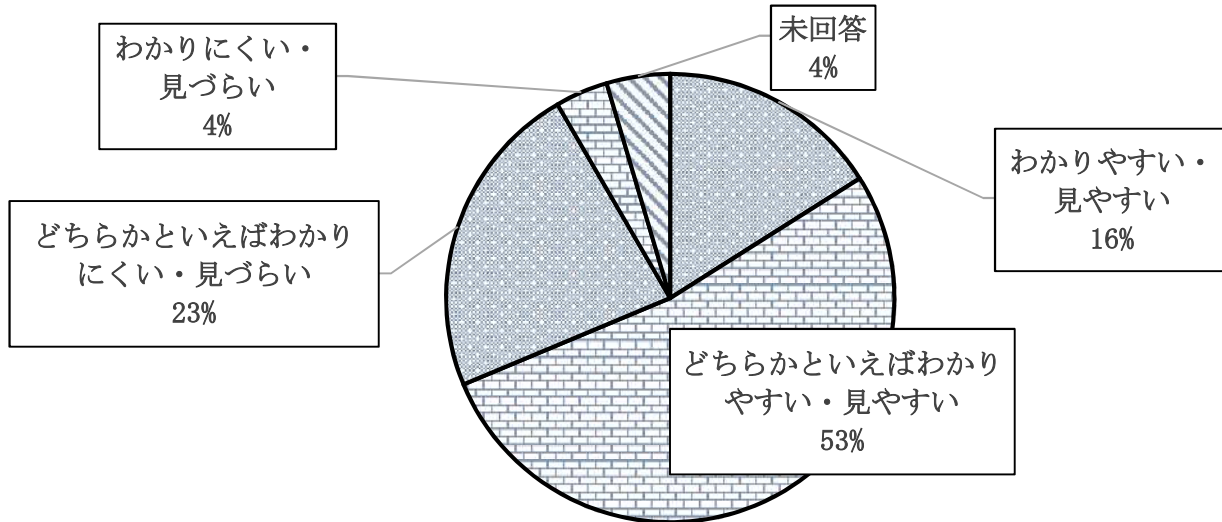
7. 各項目への関心度（ありの割合）



質問 8 現在のハザードマップをどう思うか

わかりやすい・見やすい	63	わかりにくい・見づらい	15
どちらかといえばわかりやすい・見やすい	207	どちらかといえばわかりにくい・見づらい	90
未回答	18		

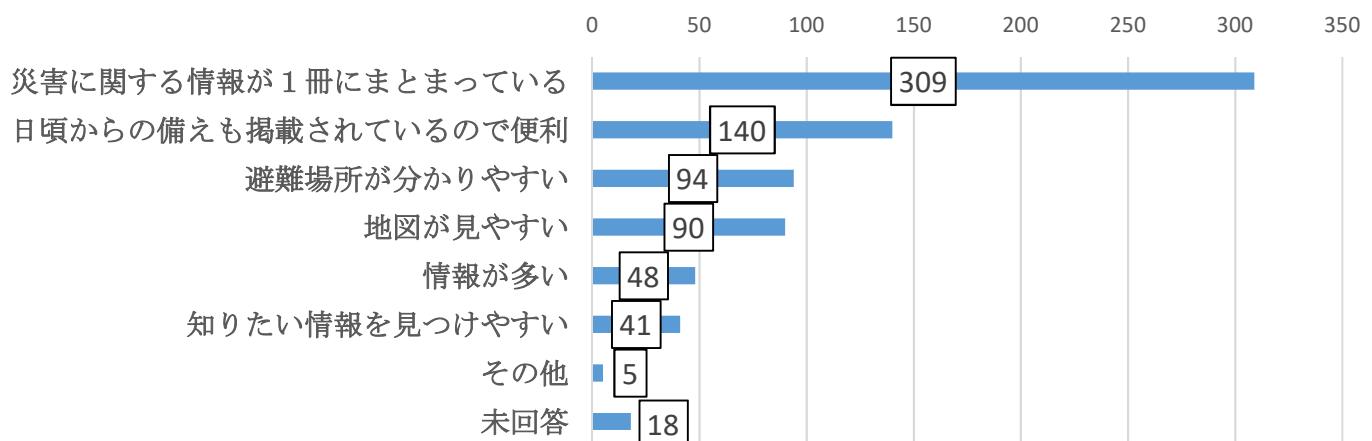
8. 現在のハザードマップをどう思うか



質問 9 現在のハザードマップの良い点

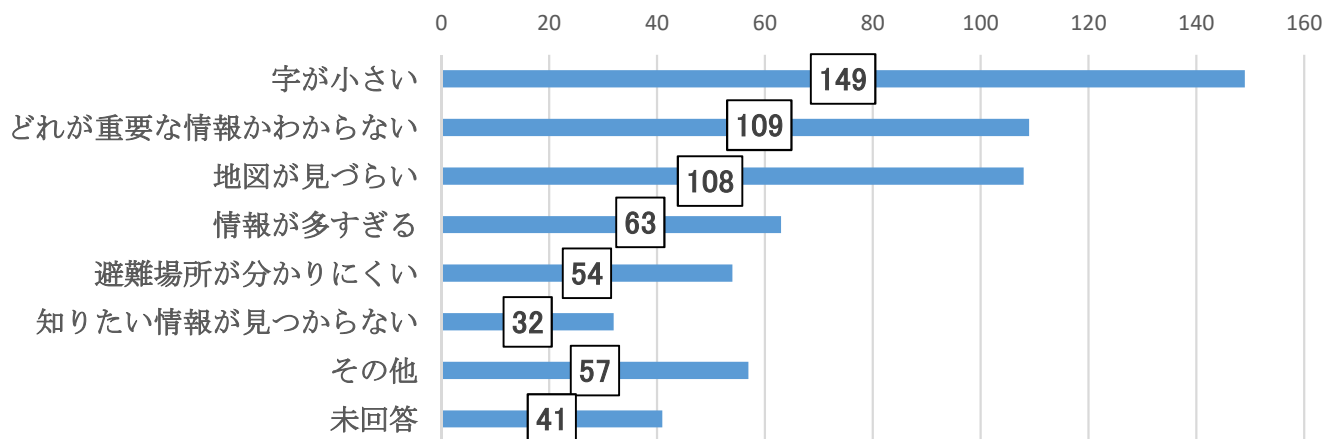
災害に関する情報が1冊にまとまっている	309
日頃からの備えも掲載されているので便利	140
避難場所が分かりやすい	94
地図が見やすい	90
情報が多い	48
知りたい情報を見つけやすい	41
その他	5
未回答	18

9. 現在のハザードマップの良い点



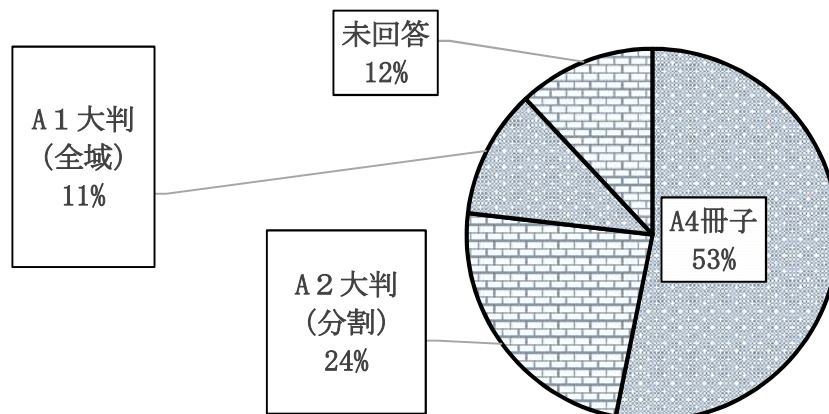
質問 1 0 現在のハザードマップの改善点	
字が小さい	149
どれが重要な情報かわからない	109
地図が見づらい	108
情報が多すぎる	63
避難場所が分かりにくい	54
知りたい情報が見つからない	32
その他	57
未回答	41

10. 現在のハザードマップの改善点



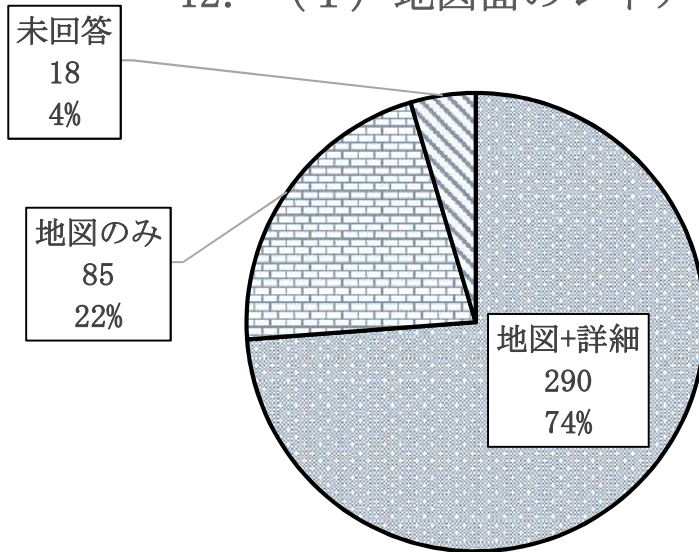
質問 1 1 新しいハザードマップについて	
A4冊子	209
A 2 大判（分割）	93
A 1 大判（全域）	44
未回答	47

11. 新しいハザードマップの形態



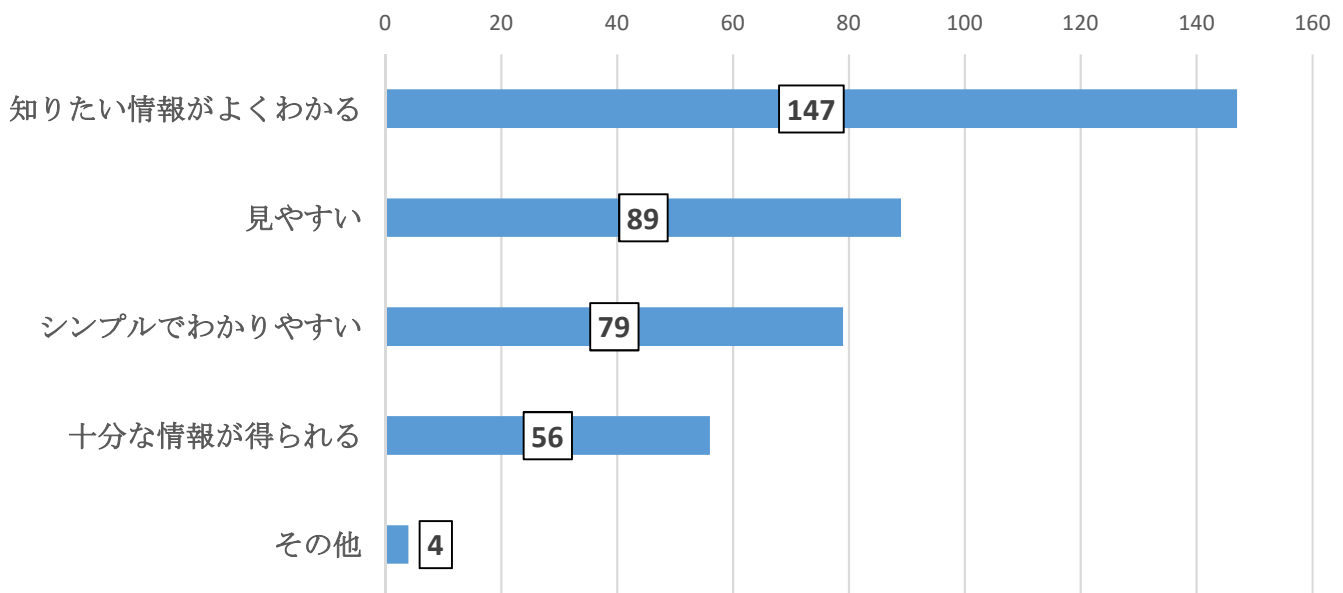
質問 1 2 - (1) レイアウトについて	
地図+詳細	290
地図のみ	85
未回答	18

12. (1) 地図面のレイアウト



質問 1 2 - (2) 理由	
見やすい	89
知りたい情報がよくわかる	147
シンプルでわかりやすい	79
十分な情報が得られる	56
その他	4

12. (2) 理由



質問 1 3 その他（自由記述）

①新たに記載してほしい内容について

- マイ・タイムライン（台風接近の3日前に情報収集、1日前に避難経路の確認など）
- 洪水の到達時間と流れる方向
- 避難所での生活様式（避難所のイメージ図やコロナ対応の方法など）
- 避難のフローチャート（垂直避難or友人宅避難or車中泊避難or避難所）
- 等高線（避難する時に地盤の高い土地が分かるように）
- 浸水実績図（日頃から浸水しやすい箇所を避けて避難するため）
- ペットの避難
- AEDの設置場所
- 車の一時退避場所の位置

②情報面の拡充について

- 洪水が起きた場合にどんな状況になるのかを、イラスト等でわかりやすく示すとわかりやすい。（トイレが使えないなど）
- 避難する時の注意点を細かく記載してほしい。（ブロック塀沿いを通らない、やむを得ず夜間避難する場合など）
- 在宅での垂直避難をする場合の参考例をイラスト等で示すと良い。
- 避難勧告等の発令基準をもっとわかりやすく示してほしい。
- 避難する時の持ち出し品と、家庭での備蓄品をそれぞれ記載してほしい。
- 災害時の情報収集の方法を詳しく記載してほしい。
- 災害時に確認すべき情報を記載してほしい。（水位情報や罹災証明など）
- 自助・共助・公助についての説明を記載すると良い。

③ハザードマップの形態について

- 地域に特化した分割地図があると良い。
- 持ち出し品や避難に関するイラスト等が記載された、家庭で掲示できるものがあると良い。
- 訓練で配布できるようなポケットサイズの小型マップがあると良い。
- 地図情報のみの全体地図が欲しい。

④その他の提案・要望について

- 避難所を早期に開設してほしい。
- 高層マンションや企業など、民間の一時避難場所を拡充し、その場所をハザードマップに掲載してほしい。
- あらかじめ地域ごとに避難所の候補を設定してもらえると避難の混乱が少なくなると思う。
- 背景地図の市道をもっと見やすくしてほしい。
- インターネット上での災害情報の提供を強化してほしい。
- 避難所と避難場所の違いをわかりやすく説明してほしい。
- クレヨンしんちゃんを活用するのはどうか。